

## アメリカ穀物協会 2022 年トウモロコシ収穫品質レポートの概要 より高い平均容積重とタンパク質含有量

アメリカ穀物協会では、第 12 回目になる年次トウモロコシ品質調査「2022/2023 トウモロコシ収穫時品質レポート」を公表した。レポートでは、市場チャネルに流通する 2022 年米国産トウモロコシは、過去 5 年の各品質要因の平均と比較して、平均容積重とタンパク質含有量が高く、総損傷が少なくなっています。

生育期初めは気温が下がったため作付けが遅れたが、5 月の温暖な気候により生育が例年に追いつき、その後はほぼ平均的なペースで成熟した。コーンベルト西部の地域では、予想よりも高い暑さと低い降水量が続いた。

これらが原因となり、今年の作物の収量は減少したが、成熟は加速され、晴天によりタイムリーな収穫が保証されたことにより、作物の品質は維持された。

代表的なサンプルの総合的な品質の平均は、米国 No.1 等級の要件より優れていた。また、サンプルの 81.5%が米国 No.1 等級要件を満たし、95.3%が米国 No.2 等級要件を満たしていることが示された。

本レポートは、トウモロコシ生産の上位 12 州から採取された 600 のイエローコーンのサンプルの検査結果に基づいている。農場での品質を測定および分析し、さまざまな地理的条件の異なる地域による品質特性の変動を考慮するため、サンプルは地元の穀物エレベーターから収集された。

今年のトウモロコシは 2021 年よりも高い容積重を示した。平均総損傷は 2021 年よりも高いが、過去 5 年平均よりも低く、2021 年および過去 5 年平均と同じ平均水分含量であった。また、2021 年および過去 5 年平均よりも高い平均タンパク質濃度を示した。

ほぼすべてのサンプルがアフラトキシンについて米国食品医薬品局（FDA）の規制レベルを下回り、サンプルの 86.1%がデオキシニバレノール（DON）とボミトキシンの FDA 勧告レベルである 5.0ppm を下回っていた。フモニシンについては、FDA の最も厳しいガイダンスレベルである 5.0ppm を下回っていたサンプルは、98.9%で 2021 年よりもわずかに高い割合であった。

2022/2023 年のトウモロコシ収穫品質レポートは、国際市場流通に入る際の収穫時点での米国産トウモロコシの品質に関する情報を提供している。輸出ターミナルでの輸出貨物積み込み時のトウモロコシ品質について調査する 2022/2023 トウモロコシ輸出貨物品質報告書は、2023 年初頭に利用可能になる予定である。

2022/2023 年米国産トウモロコシ収穫時品質レポートの全文（英語）は[こちらから](#)お読みください。また、2022 年 12 月 14 日に本レポートの概要についての講演を行います。ご参加ご希望の方は[こちらのウェブページ](#)をご参考にお申し込みください。